

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	保育内容総論 (Y H II A 1)			演習	佐々木 由美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜資料を配布する
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	模擬保育	発表	課題	
50%	10%	10%	10%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授業概要

【授業内容・方法】

この授業は、これまでに学んできた各領域に関する知識や実践で得た内容を振り返りながら、総合的に保育を捉えて学ぶことを目的とする。保育に関する専門家として、この授業における学びを実践の保育の場で生かせるよう、演習の前提となる講義を行うとともに、事例検討や調べ学習・発表・模擬保育を行って考えを深める。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー及び発表・模擬保育については授業の中でフィードバックする。課題はmanabaのレポート機能を使用して、フィードバックする。

【授業の到達目標】

- ・保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期に育ってほしい10の姿」と「保育内容」の関連を理解し、説明できる。
- ・保育の全体的な構造を理解し、説明できる。
- ・保育内容の基本的な考え方を、子どもの発達や実態に即した具体的な保育の過程につなげて理解し、説明できる。
- ・保育の多様な展開について具体的に理解し、説明できる。

【実務経験】

保育士として子育てで支援に関わった経験を生かして、保育内容について実践的に授業を行う。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	オリエンテーション 保育のあるべき姿	予習)	シラバスにて授業内容・到達目標を把握	0.5時間
		復習)	現在の自分の保育観をまとめる	1時間
2	保育の全体構造と保育内容① 3つの視点と5領域	予習)	3つの視点と5領域を整理	0.5時間
		復習)	授業内の課題について考察	1時間
3	保育の全体構造と保育内容② 10の姿と幼小接続	予習)	10の姿について整理	0.5時間
		復習)	授業内の課題について考察	1時間
4	保育の全体構造と保育内容③ 養護と教育が一体となった保育	予習)	養護と教育について整理	0.5時間
		復習)	授業内の課題について考察	1時間
5	子どもの発達と保育内容 同年齢か・異年齢か (発表)	予習)	発表に備え資料作り	2時間
		復習)	発表内容の考察	1時間
6	遊びによる総合的な保育 内容から・ねらいから (発表)	予習)	発表に備え資料作り	2時間
		復習)	発表内容の考察	1時間
7	子どもの主体性と保育 自由保育・一斉保育 (発表)	予習)	発表に備え資料作り	2時間
		復習)	発表内容の考察	1時間
8	個と集団の発達を踏まえた保育 全員参加・個人の自由 (発表)	予習)	発表に備え資料作り	2時間
		復習)	発表内容の考察	1時間
9	長時間保育の賛否 (発表)	予習)	発表に備え資料作り	2時間
		復習)	発表内容の考察	1時間
10	保育内容における遊びー遊びの定義と意義	予習)	遊びの意義について下調べ	0.5時間
		復習)	授業内の課題について考察	1時間
11	保育内容における遊びー教材を生かす	予習)	子どもの遊びについて下調べ	0.5時間
		復習)	授業内の課題について考察	1時間
12	保育現場が抱える課題ー保育者に求められること	予習)	保育現場の課題を整理する	0.5時間
		復習)	エンパワメントについてまとめる	1時間
13	保育の計画と評価ー指導案を書く	予習)	指導案の書き方を復習	0.5時間
		復習)	月案の作成	1時間
14	模擬保育	予習)	模擬保育について考える	1時間
		復習)	模擬保育の指導案を作成する	1時間
15	模擬保育 振り返り	予習)	模擬保育の練習	1時間
		復習)	模擬保育の振り返り	1時間

担当者からのメッセージ

保育内容の集大成となる学びですので、自分の保育観を省察しましょう。双方向的授業になるよう積極的に授業に参加してください。

【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年前期		保育と環境（再履修） （ Y H II A 4 ）		演習	佐々木 由美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	○	○	○		
教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」（平成29年3月告示 文部科学省）・「保育所保育指針解説書」（平成29年3月告示 厚生労働省）・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省）					
教材 適宜資料を配布する					
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	考察発表	実技	授業態度	
50%	20%	20%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

この授業では、環境を通じた保育を前提に、保育者の役割についての理解を深め、幼児の発達にとっての環境の意義について学ぶ。保育者としての実践的な技能と豊かな知識を身に付けるため、講義を中心としつつ必要に応じて適宜視聴覚教材や演習も取り入れる。また、授業の中で議論や意見の共有を行う。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパーについては授業の中でフィードバックする。

【授業の到達目標】

- ・子どもにとっての環境の特性を知り、遊びを通して主体的に活動できる環境とは何かを理解し、説明できる。
- ・自分自身が周囲の身近な環境に対して興味関心を持ち、環境を通じた実践的な支援を行うことができる。
- ・子どもを取り巻く環境や、子どもと環境との関わりについての専門的事項について理解し説明できる。

【実務経験】

保育士としての実務経験を生かし、環境を通じた保育について考える。

授 業 計 画		準 備 学 習（予 習・復 習）	準 備 学 習 時 間
1	授業概要 環境を通じた保育とは	予習) シラバスにて授業内容・到達目標を把握	0.5時間
		復習) 授業内で行ったワークの考察	1時間
2	自然体験について知る	予習) 自然体験の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で行ったワークの考察	1時間
3	いろいろな子どもの遊び場・遊具	予習) 遊び場・遊具の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で行ったワークの考察	1時間
4	子どもの成長と保育環境とは ①3歳未満児	予習) 指針解説 P145-155を読む	0.5時間
		復習) 授業内で行ったワークの考察	1時間
5	子どもの成長と保育環境とは ②3歳児	予習) 指針解説 P228-247を読む	0.5時間
		復習) 授業内で行ったワークの考察	1時間
6	子どもの成長と保育環境とは ③4歳児	予習) 要領解説 P193-212を読む	0.5時間
		復習) 授業内で行ったワークの考察	1時間
7	子どもの成長と保育環境とは ④5歳児	予習) 要領解説 P2-21を読む	0.5時間
		復習) 授業内で行ったワークの考察	1時間
8	いろいろなものを栽培・収穫体験	予習) 栽培・収穫体験の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で行ったワークの考察	1時間
9	いろいろな生き物を飼育	予習) 生き物飼育の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で行ったワークの考察	1時間
10	いろいろな日本の年中行事	予習) 年中行事の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で行ったワークの考察	1時間
11	保育環境の中にある数量・図形	予習) 数量・図形の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で行ったワークの考察	1時間
12	保育環境の中にある標識・文字	予習) 標識・文字の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で行ったワークの考察	1時間
13	園外保育をはじめとする地域社会と関わり	予習) 園外保育の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で行ったワークの考察	1時間
14	幼小接続をはじめとする地域社会との関わり	予習) 保育資源・文化施設の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で行ったワークの考察	1時間
15	連絡帳の役割 まとめと振り返り	予習) 連絡帳の役割について考える	0.5時間
		復習) 定期試験準備	1時間

担当者からのメッセージ

子ども達がワクワクするような環境作りを一緒に考えていきましょう。
【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者	
2年前期	保育内容の指導法（環境） 〈 Y H I A 9 〉			演習	佐々木 由美子	
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」（平成29年3月告示 文部科学省）・「保育所保育指針解説書」（平成29年3月告示 厚生労働省）・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省） 教材 適宜資料を配布する		
1単位	○	○	○			
評価方法・基準						
定期試験	模擬保育	課題	リアクションペーパー			授業態度
50%	10%	10%	20%	10%		
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない						

授業概要

【授業内容・方法】

この授業では、園での日常生活の中で子どもたちが接する環境について理解を深め、探究する心を育てるように魅力的で安全な環境を構成する能力を養う。保育者としての実践的な技能と豊かな知識を身に付けるため、講義を中心としつつ必要に応じて適宜視聴覚教材や演習も取り入れ、グループワークや模擬保育を行う。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー、模擬保育に関しては授業の中でフィードバックし、共有する。課題は授業で解説する。

【授業の到達目標】

- ・乳幼児にとっての環境の特性を知り、遊びを通して主体的に活動できる環境とは何かを理解し、説明できる。
- ・自分自身が周囲の身近な環境に対して興味関心を持ち、情報機器等を活用して教材作成ができ、環境を通じた実践的な援助と支援を行うことができる。
- ・幼児を取り巻く環境や、幼児と環境との関わりについての専門的事項について理解し説明できる。

【実務経験】

保育士としての実務経験を生かし、環境を通じた保育について考える。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	授業概要 私たちを取り囲むもの	予習)	シラバスにて授業内容・到達目標を把握	0.5時間
		復習)	環境システムについてまとめる	1時間
2	保育における「環境」とは「ねらい」と「内容」の理解	予習)	環境の「ねらい」と「内容」を確認する	0.5時間
		復習)	3歳以上と未満の内容の違いをまとめる	1時間
3	環境の要素としての 人、物、自然、社会	予習)	環境の4要素の下調べ	0.5時間
		復習)	野菜・果物の旬を調べる	1時間
4	教材研究：自然環境 身近な自然を体験する	予習)	織姫山について調べる	0.5時間
		復習)	教材を完成させる	1時間
5	園の環境	予習)	園環境の下調べ	0.5時間
		復習)	DVD課題を完成させる	1時間
6	教材研究：物的環境 遊具やおもちゃについて知る	予習)	小麦粉粘土の作り方の下調べ	0.5時間
		復習)	製作遊びに使う道具の特徴をまとめる	1時間
7	ものの性質や仕組みに気づく	予習)	浮沈子の作り方の下調べ	0.5時間
		復習)	目に見えないものを感じる遊びをまとめる	1時間
8	社会的環境 (1) 年間行事と地域社会との触れ合い	予習)	鬼お面の作り方の下調べ	0.5時間
		復習)	年間行事にかかわる絵本を見つけて読む	1時間
9	社会的環境 (2) 多文化との関わり	予習)	日本在住の外国人人口について調べる	0.5時間
		復習)	多文化学校プロジェクトのサイトを確認	1時間
10	教材研究：情報機器を活用した教材作成	予習)	お菓子箱工作の下調べ	0.5時間
		復習)	子どもが情報機器を使う是非を考える	1時間
11	子どもと環境のかかわりをとらえる視点	予習)	子どもにとっての環境の役割をまとめる	0.5時間
		復習)	教材研究を行う	1時間
12	園の模擬環境及び模擬保育 指導案作成	予習)	模擬保育で行う活動を考える	0.5時間
		復習)	指導案を完成させる	1時間
13	園の模擬環境及び模擬保育 発表	予習)	模擬保育の練習	0.5時間
		復習)	模擬保育の振り返り	1時間
14	園の模擬環境及び模擬保育 発表	予習)	模擬保育の練習	0.5時間
		復習)	模擬保育の振り返り	1時間
15	園の模擬環境及び模擬保育 発表 振り返り	予習)	模擬保育の練習	0.5時間
		復習)	振り返りシートを完成させる	1時間

担当者からのメッセージ

子ども達がワクワクするような環境作りを一緒に考えていきましょう。
【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	保育者論 (Y H II B 1)			講義	佐々木 由美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	考察発表	実技	授業態度	
50%	20%	10%	10%	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜資料を配布する					

授業概要

【授業内容・方法】

この授業は、保育者に求められている資質や期待される役割を理解することを目的とし、保育者としての専門性を保育現場の実態から学ぶ。授業は講義を中心とするが、ディスカッションやカンファレンスも含め実践的内容を取り入れる。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・ディスカッションやカンファレンスの内容に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。

【授業の到達目標】

- ・保育者の役割と倫理について理解し、説明できる。
- ・保育者の制度的な位置づけを理解し、説明できる。
- ・保育者の専門性について考察するとともに理解し、説明できる。
- ・保育者の連携・協働について理解し、説明できる。
- ・保育者の資質向上とキャリア形成について理解し、説明できる。

【実務経験】

保育士の実務経験を生かし、理論と保育現場の実際を総合的実践的に捉えて講義を行う。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	オリエンテーション 保育者とは：保育者の専門性について改めて考える	予習	シラバスにて授業内容・到達目標を把握	1時間
		復習	保育者の専門性についてまとめる	3時間
2	保育者の役割：保育の現場でどのような役割を果たすのか グループディスカッション・発表	予習	自分なりに保育者の役割をまとめる	2時間
		復習	ディスカッションのまとめを行う	2時間
3	保育者の制度的な位置づけと倫理 全国保育士倫理綱領について学ぶ	予習	倫理綱領を熟読し、理解する	2時間
		復習	保育者の制度的な位置づけをまとめる	2時間
4	保育者の専門性と資質・能力①：乳児の保育 保育カンファレンス	予習	乳児の発達についてまとめる	2時間
		復習	保育カンファレンスのまとめを行う	2時間
5	保育者の専門性と資質・能力②：3歳児の保育 保育カンファレンス	予習	3歳児の発達についてまとめる	2時間
		復習	保育カンファレンスのまとめを行う	2時間
6	保育者の専門性と資質・能力③：4歳児の保育 保育カンファレンス	予習	4歳児の発達についてまとめる	2時間
		復習	保育カンファレンスのまとめを行う	2時間
7	保育者の専門性と資質・能力④：5歳児の保育 保育カンファレンス	予習	5歳児の発達についてまとめる	2時間
		復習	保育カンファレンスのまとめを行う	2時間
8	保育者の専門性と資質・能力⑤：多様な子どもの保育 保育カンファレンス	予習	多様な子どもの発達についてまとめる	2時間
		復習	保育カンファレンスのまとめを行う	2時間
9	計画に基づく保育の実践と省察・評価 保育のPDCAについて	予習	教育実習で作成した指導案を見直す	2時間
		復習	デイリープログラムを作成する	2時間
10	地域や関連機関との連携・協働 多様な子育て支援サービスについて	予習	地域の関連機関について調べる	2時間
		復習	連携・協働の必要性の意味をまとめる	2時間
11	保育者の資質向上とキャリア形成 グループディスカッション・発表	予習	資質向上に必要なことについてまとめる	2時間
		復習	ディスカッションのまとめを行う	2時間
12	保育の質を向上させるためすべきこと グループディスカッション・発表	予習	資質向上に必要なことについてまとめる	2時間
		復習	ディスカッションのまとめを行う	2時間
13	保育者としての子育て支援 事例検討	予習	子育て支援とは何かについてまとめる	2時間
		復習	子育て支援の必要性についてまとめる	2時間
14	現代社会における保育者の課題 グループディスカッション・発表	予習	保育者の課題についてまとめる	2時間
		復習	ディスカッションのまとめを行う	2時間
15	連絡帳のやりとり(事例検討) まとめと振り返り	予習	自分の保育観をまとめる	2時間
		復習	定期試験の準備	2時間

担当者からのメッセージ

保育者は、倫理観に支えられた専門的知識や技術を持つ者として社会的に認められている専門職です。プロの保育者になるために、保育について一緒に考えていきましょう。保育カンファレンス・ディスカッションには積極的に参加してください。

【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	こどもの健康と安全 (H I G 3)			演習	佐々木 由美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜資料を配布する
1単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	模擬保育	課題	授業態度	
50%	20%	10%	10%	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

子どもの成長・発達、健康状態の観察、健康の維持増進に向けた養護技術、疾病や自己の予防や対応など、保育における保健的対応に必要な基礎的知識を学習するとともに、演習をとおして実践能力の向上を図る。適宜グループワークをおこない、意見の共有と課題の解決を図る。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパーは授業の中でフィードバックし、共有する。課題は授業で解説する。

【授業の到達目標】

- ・保育における保健的視点を踏まえた保育環境や援助について理解する。
- ・関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、衛生管理・事故防止・安全対策・災害対策について理解する。
- ・子どもの体調不良時に対する適切な対応について理解する。
- ・保育における感染症対策について理解する。
- ・子どもの成長・発達や健康増進に向けた具体的援助技術を習得する。
- ・子どもの健康および安全の管理に係る組織的取り組みや保健活動の計画および評価について理解する。

【実務経験】

臨床検査技師として小児病院に勤務(経験) 保育士キャリアアップ研修講師：保健衛生・安全対策(担当)

授 業 計 画		準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)		準備学習時間
1	オリエンテーション、子どもの健康・安全と保育環境	予習) シラバスで授業内容・到達目標を把握 復習) 保育環境と援助についてまとめる		0.5時間 1時間
2	子どもの発育：測定と評価	予習) 母子手帳から自分の発達の様子を知る 復習) 子どもの定型発達についてまとめる		0.5時間 1時間
3	事故防止と安全対策・災害への備え	予習) 保育現場で起こった事故を調べる 復習) 保育者ができる事故防止策をまとめる		0.5時間 1時間
4	保育における保健的対応・アレルギー	予習) アナフィラキシーについて調べる 復習) アレルギーへの対応方法をまとめる		0.5時間 1時間
5	健康安全管理と健康教育① 健康安全管理と教育について	予習) 健康・安全教育の例を調べる 復習) 健康・安全教育のあり方をまとめる		0.5時間 1時間
6	健康安全管理と健康教育② 教材作成	予習) 教材作成の準備をする 復習) 教材を完成させ、工夫点をまとめる		0.5時間 1時間
7	健康安全管理と健康教育③ 発表(模擬保育)	予習) 模擬保育の準備をする 復習) 模擬保育の振り返りをする		0.5時間 1時間
8	個別的な配慮を要する子ども	予習) 配慮の必要な子どもについて調べる 復習) 医療的ケア・LGBTQについてまとめる		0.5時間 1時間
9	子どもの心の健康① ストレス	予習) 子どもの精神保健について調べる 復習) ストレスとその対応法をまとめる		0.5時間 1時間
10	子どもの心の健康② さまざまな症状	予習) 精神的原因による症状を調べる 復習) さまざま症状とその対応をまとめる		0.5時間 1時間
11	子どもの心の健康③ 発達障害等	予習) 発達障害について整理しておく 復習) 子どもの困り感とその対応をまとめる		0.5時間 1時間
12	保育所における感染症対策・予防接種	予習) 感染症と予防接種について調べる 復習) 感染症対策についてまとめる		0.5時間 1時間
13	子どもの体調不良時の対応・心肺蘇生	予習) 子どもの体調不良の症状を調べる 復習) 体調不良時の対応をまとめる		0.5時間 1時間
14	傷害および誤嚥・誤飲時の対応	予習) ケガや誤嚥・誤飲事故を調べる 復習) ケガや誤嚥・誤飲の対応法をまとめる		0.5時間 1時間
15	保健計画の作成と活用	予習) 保健計画作成の根拠を調べる 復習) 保健計画を完成させる		0.5時間 1時間

担当者からのメッセージ

保育者は子どもの命を守る仕事です。命の大切さ、命を守るといったことはどういうことかを真剣に考えていきましょう。

【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	美術 (I A 3)			講義	茂木克浩
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 「ART SINCE 1900: 図鑑 1900年以後の芸術」岡崎信一郎ほか 東京書籍・「増補新装 カラー版 西洋美術史」高階秀爾 美術出版社 その他、内容に合わせて適宜紹介する 教材 ポートフォリオ用ファイル(詳細は1回目の授業で説明します)・適宜授業内で連絡する
2単位	—	—	—		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	レポート	提出物	授業態度	
—	10%	25%	50%	15%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授業概要

【授業の内容・方法】

本授業では、現代に生きる私達にとってアート(美術)とはどのような意味をもつものなのかという問いに対して自らの考えをもつことを目指す。授業では美術史の大まかな流れを掴んだ後、現代におけるアートの役割について検討する。講義で基本的な知識をおさえたのち、ミニ展覧会を企画するという課題を通して自らが考えるアートの意味を発表してもらう。

【フィードバックの方法】

レポートや各課題について、授業内でアドバイスと解説を行う。

【授業の到達目標】

- ・美術の大まかな歴史の流れについて説明できる。
- ・現代におけるアートの意味について自らの考えを多様な視点から説明することができる。

【実務経験】

中学校の美術科教員としての経験を生かし、美術の専門的な学びを計画していく。(茂木)

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	アートとは何か	予習	アートの定義について調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
2	西洋美術の歴史を概観するー古代から中世ー	予習	古代から中世の美術について調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
3	西洋美術の歴史を概観するールネサンス・ロココー	予習	ルネサンスとロココの美術について調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
4	西洋美術の歴史を概観するー近代ー	予習	近代の美術について調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
5	西洋美術の歴史を概観するー現代ー	予習	現代の美術について調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
6	日本美術の歴史を概観するー仏教美術ー	予習	仏教美術について調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
7	日本美術の歴史を概観するー江戸美術ー	予習	江戸時代の美術について調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
8	現代におけるアートの役割①	予習	デザインとアートの共通点と相違点を調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
9	現代におけるアートの役割②	予習	パブリック・アートについて調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
10	現代におけるアートの役割③	予習	アウトサイダー・アートについて調べる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
11	美術展をつくろう①	予習	オリジナルの美術展の企画を考える	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
12	美術展をつくろう②	予習	オリジナルの美術展の準備をする	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
13	美術展をつくろう③	予習	オリジナルの美術展の資料をまとめる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
14	美術展をつくろう④	予習	オリジナルの美術展の発表準備をする	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間
15	美術展レポート発表	予習	自分が調べた美術展についてまとめる	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.5時間

担当者からのメッセージ

アート(美術)について各回のキーワードを切り口に考えていきましょう。美術が好きなのはもちろん、苦手意識がある人や今まで興味がなかった人も大歓迎です。どこか遠い世界だと思っていたアートの世界が身近に感じられるかもしれませんよ。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜4コマです。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	保育内容の指導法(造形表現)(再履修) (Y H I I A 1 1)			演習	茂木克浩
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 「保育をひらく造形表現」横英子 萌文書林 参考書 幼稚園教育要領解説(平成30年3月文部科学省)、保育所保育指針解説(平成30年3月厚生労働省)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年3月内閣府)、「色彩ワークショップ(しる・みる・つかうシリーズ1)」色彩ワークショップ編集委員会 日本色研事業株式会社 教材 画材道具一式、ポートフォリオ用ファイル(詳細は1回目の授業で説明します)	
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
レポート	リアクションペーパー	実技	提出物	模擬保育	
30%	10%	25%	15%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授業概要

【授業の内容・方法】

本授業では乳幼児の表現活動、特に造形表現を中心にした保育内容の展開や指導法を実践的に学ぶ。実際に保育現場で用いられることの多い素材や道具に触れることで、その特徴や指導上の留意点を経験的に学べるようにする。指導案の作成や模擬保育を通して、学修した知識を元に保育を計画できる実践的な力の獲得を目指す。適宜、グループワークを取り入れ、多様な表現や視点に気付けるようにする。また素材や道具、環境の設定と関連させながら安全管理についても取り扱っていく。ポートフォリオに毎時間の学びを記録してもらうことで、知識の定着を図る。作成したポートフォリオは最終授業後に提出してもらう。

【フィードバックの方法】

毎回の授業後にリアクションペーパーの提出を求め、学生の関心を捉えるだけでなく、寄せられた質問に対しては次時に回答し学びを深められるようにする。制作活動や模擬保育について、授業内で講評、解説をする。

【授業の到達目標】

- ・ 道具、素材、環境、技法等の特徴を理解し、幼児の関心や発達に合わせた保育内容を構想できる。
- ・ 領域「表現」の目標及び内容を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成できる。
- ・ 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点と姿勢を身に付けている。

【実務経験】

中学校の美術科教員としての経験を生かし、素材の特徴や道具の使い方、表現のポイント、具体的な活動の立案方法について実践的に学べるようにする。

授業計画		準備学習(予習・復習)	準備学習時間
1	領域「表現」と幼児の造形表現活動との関連	予習) 教科書p.9-14,84-86を読み不明点を調べる	0.5時間
		復習) 自らの造形体験について思い出す	0.5時間
2	描画・造形表現の発達と小学校への接続	予習) 教科書p.63-79を読み不明点を調べる	1時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
3	インクルーシブ保育と多様な表現活動	予習) 教科書p.79-81,118-124を読み不明点を調べる	0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
4	身体感覚を生かした表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 教科書p.15-25を読み不明点を調べる	0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
5	協働で行う表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 教科書p.26-30を読み不明点を調べる	0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
6	色や形を生かした表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 色彩や形の基本的なことについて調べる	0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
7	描画材の特徴を生かした表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 保育現場で使われている描画材について調べる	0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
8	描画技法を用いた表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 様々な描画技法について調べる	0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
9	仕組みを用いた表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 仕組みを使った造形活動について調べる	0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
10	身近な素材を用いた表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 身近にある様々な素材について調べる	0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
11	模擬保育に向けた計画立案と指導案作成	予習) 教科書p.101-110を読み不明点を調べる	0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
12	模擬保育に向けた教材研究	予習) 教科書p.112-116を読み不明点を調べる	0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
13	模擬保育の実践	予習) 模擬保育の準備をする	2.0時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
14	模擬保育の振り返り	予習) 模擬保育について自己評価をする	0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
15	子どもの造形表現活動の評価とそれを活かした支援	予習) 評価について調べる	0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間

担当者からのメッセージ

子どもと一緒に造形表現を楽しむためには、保育者自らが素材や道具にたくさん触れそれらに対する理解を深めることが大切です。またその知識を用いて具体的な活動を計画できることが必要になります。学びを自分のものにするためには、各回の学修内容と気づきを自らの言葉で振り返ることが重要です。疑問点については積極的に調べましょう。前向きに授業に取り組んでくれることを期待します。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜4コマです。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年後期		教育の方法と技術Ⅱ (YHIC2#)		演習	茂木克浩
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	○	#		
評価方法・基準					
レポート	リアクションペーパー	提出物	グループでの成果物 (模擬保育含む)	授業態度	
20%	10%	15%	45%	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書「保育をひらく造形表現」榎英子 萌文書林、「何をつくるか決めない造形あそび そぞい探求LABO」桐嶋歩 内容に合わせて適宜紹介する 教材 画材道具一式、ポートフォリオ用ファイル(詳細は1回目の授業で説明します)					

授業概要

【授業の内容・方法】

本授業では幼児の造形表現と遊びとの関係性について理解した上で、保育者としてそれを支えるためのより実践的な技能を身につけることを目的とする。一般的に「造形あそび」と言われる、作品の完成を目的としないプロセスを重視した造形表現活動について学び、授業の後半では実際にグループで模擬保育を実践し技能の習得を図る。授業は、造形あそびを体験した後、それを発展させた展開例を考えるという流れで行っていく。ポートフォリオに毎時間の学びを記録してもらうことで、知識の定着を図る。作成したポートフォリオは最終授業後に提出してもらう。本授業の評価においては、素材や環境のもつ魅力を活かした独創的で多様な展開例を考えることができているかを重視する。

【フィードバックの方法】

毎回の授業後にリアクションペーパーの提出を求め、学生の関心を捉えるだけでなく、寄せられた質問に対しては次時に回答し学びを深められるようにする。レポートや発表した活動について、授業内に講評、解説を行う。

【授業の到達目標】

- ・素材や環境のもつ魅力を活かした造形あそびを計画し、状況に合わせて多様な展開ができる。
- ・幼児の造形表現活動において、プロセスを見ることの大切さとその視点を理解できる。

【実務経験】

中学校の美術科教員としての経験を生かし、造形表現のプロセスを見取る視点を具体的に示していく。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	造形表現活動とあそび・造形あそびについて 表現のプロセスを見ることについて	予習	「あそび」について調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
2	ドキュメンテーションについて	予習	ドキュメンテーションについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
3	場所をいかした造形あそび	予習	場所の魅力をいかした造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
4	色彩をいかした造形あそび	予習	色彩の特性をいかした造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
5	光をいかした造形あそび	予習	光の特性をいかした造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
6	身近な素材を使った造形あそび①	予習	身近な素材を使った造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
7	身近な素材を使った造形あそび②	予習	身近な素材を使った造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
8	美術館の利用と対話型鑑賞	予習	美術館の教育普及活動と対話型鑑賞について調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
9	造形あそびから考える模擬保育①(活動内容の検討)	予習	模擬保育の内容を考える	1.0時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
10	造形あそびから考える模擬保育②(指導案作成)	予習	模擬保育の活動の流れを考える	1.0時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
11	造形あそびから考える模擬保育③(準備・試行)	予習	指導案を完成させる	2.0時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
12	造形あそびから考える模擬保育④(実践・討議)	予習	模擬保育の準備を進める	1.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
13	ドキュメンテーションの作成①	予習	ドキュメンテーションのアイデアを考える	1.0時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
14	ドキュメンテーションの作成②	予習	ドキュメンテーションの製作をすすめる	2.0時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
15	ドキュメンテーションの発表・討議・まとめ	予習	発表の準備をする	2.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間

担当者からのメッセージ

保育者には造形表現活動のプロセスから、子どもたちにおきている学びを読み取り、より魅力的な学びになるよう次の展開を考える力が必要になります。活動を考えたり、模擬保育を経験したりすることを繰り返すことで、保育者としての実践力が育つと考えます。他者と積極的に協力し多様な活動が展開されることを期待します。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは金曜4コマです。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	心身の発達と学習過程（再履修） （ Y H II B 3 ）			講義	五十嵐 元子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	30%	60%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

教科書
心理科学研究会「新・育ちあう乳幼児心理学-保育実践とともに未来へ-」
有斐閣コンパクト2019年

参考書
授業中に指示

教材
適宜配布

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を身につけます。授業はオンデマンド形式で問題解決型学習を基本とします。各回の小テスト・課題（レポート）を提出してください。

【フィードバックの方法】

小テストは回答後あるいは授業中にフィードバックを、課題（レポート）はコメントを返します。

【授業の到達目標】

- ・保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について説明できる。
- ・子どもの発達に関わる心理学の基礎と養護・教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を解説できる。
- ・乳幼児の学びの過程や特性の基礎的な知識を習得し、保育者や仲間との相互的関わりや体験、環境の意義を解説できる。

【実務経験】

保健福祉センターや子ども家庭支援センター等における臨床心理士・公認心理師としての経験を活かし、理論と実践を踏まえた講義を行う。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	ガイダンス（授業の概要と流れ） 保育と心理学について考える	予習	子どもを育てるイメージを図にする	1時間
		復習	心理学と子ども観の関係をまとめる	3時間
2	発達の定義・発達の原理・発達段階と発達課題・子どもの発達と環境について学ぶ	予習	発達とは何か？を考える	2時間
		復習	発達と環境の関連性をまとめる	2時間
3	発達における遺伝と環境・発達初期の経験の重要性・ヴィゴツキーの発達理論を学ぶ	予習	発達の遺伝と環境を調べる	2時間
		復習	初期経験の重要性は本当か？を考える	2時間
4	胎児期・新生児期の発達と発達課題を知る	予習	胎児期に記憶はあるのか？を考える	2時間
		復習	新生児期の発達をまとめる	2時間
5	乳幼児期の発達と発達課題を知る	予習	乳幼児期に大切にしたいことを考える	2時間
		復習	乳幼児期の発達をまとめる	2時間
6	児童期の発達と発達課題を知る	予習	学校で学んだことは何かをまとめる	2時間
		復習	児童期の発達をまとめる	2時間
7	青年期・成人期・老年期の発達と発達課題を知る	予習	青年期以降、人間は発達するのか？を考える	2時間
		復習	青年期・成人期・老年期の発達をまとめる	2時間
8	身体的機能・運動機能の発達について学ぶ	予習	代表的な運動遊びを考える	2時間
		復習	運動機能の発達にとって大切なことを考える	2時間
9	認知の発達と幼児・児童の学習過程を学ぶ	予習	子どもの頃に不思議だと思ったことを考える	2時間
		復習	認知と学習過程の関係をまとめる	2時間
10	愛着の形成と発達・自我・自己の発達を学ぶ	予習	3歳児神話を調べる	2時間
		復習	愛着・自我・自己の発達をまとめる	2時間
11	ことばの発達を学ぶ	予習	言語発達の過程を調べる	2時間
		復習	乳幼児期のことばの発達をまとめる	2時間
12	社会性の発達を学ぶ	予習	周りの目を気にするのは何歳から？を考える	2時間
		復習	劇づくりは社会性の発達を促すか？を考える	2時間
13	遊びの発達と保育の中に見る遊びを考える	予習	泥団子の作り方を調べる	2時間
		復習	子どもにとって遊びとは何か？を考える	2時間
14	基本的生活習慣の獲得と保育実践・身体機能と運動機能の獲得と保育実践を考える	予習	あなたの家の食事のマナーを考える	2時間
		復習	基本的生活習慣とは何か？を考える	2時間
15	認知の発達と保育実践・社会性の発達と保育実践を考える 授業のまとめ	予習	鬼ごっこの種類を調べる	2時間
		復習	課題レポートの準備	2時間

担当者からのメッセージ

子どもの発達を知ると遊びの実践が楽しくなる！をモットーに学習を進めていきます。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは随時メール等で行いたいと思っています。初回授業にて詳細を案内いたします。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年通年	こどもの食と栄養 (H I F 4)			演習	川田容子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 第3版子どもの食と栄養演習書 医歯薬出版株式会社2500円
2単位	—	—	○		
評価方法・基準					参考書 保育所保育指針 幼稚園教育要領 授乳離乳の支援ガイド 食育計画作成ガイド
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
70%	—	30%	—	—	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

食事をおいしく楽しくとることが、心も体も健康に育つ上で基本となる。
 前期は、子どもの食生活の問題点について課題を通して考察するとともに、栄養の基礎、胎児期から離乳期の栄養を学ぶ。
 後期は、子どもの成長や身体状況を食機能の発達について課題を通して学ぶとともに、幼児期の栄養、乳幼児期の食育について実習を交えながら学ぶ。講義を中心に、グループワーク・プレゼンテーション・実習を取り入れる。

【フィードバックの方法】

授業内でフィードバックし 講評・解説を行い共有する。レポートは添削し返却する。

【授業の到達目標】

1. 健康な生活の基本として食生活の意義や栄養に関する基本的知識を説明ができるようになる。
2. 子どもの発育・発達と食生活の関連について説明できるようになる。
3. 食育の基本とその内容及び食育のための環境を理解し、食育指導案の作成ができるようになる。
4. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について説明できるようになる。
5. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解し、対応ができるようになる。

【実務経験】

地方自治体保育所主管課にて公立保育所の給食管理業務、食育指導、行政指導監査業務を経験。
 栃木県保育協議会研修・市町村保育所栄養士会研修にて保育士・栄養士の指導に携わる。

授 業 計 画		準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)		準備学習時間
1	オリエンテーション (講義・実習の進め方について説明する) 子どもの健康と食生活の意義	予習) シラバスを読む		0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す		0.5時間
2	健康・食生活の現状と課題①【グループワーク】	予習) 子どもの健康と食生活の課題を下調べ		1時間
		復習) 発表準備		1時間
3	健康・食生活の現状と課題②【ディスカッション】	予習) 発表準備		1時間
		復習) 課題レポート作成		1時間
4	体の成長発達とその評価	予習) 子どもの保健・子どもの発達の復習		0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す		0.5時間
5	子どもの食べる機能の発達	予習) 教科書指定頁を読む		0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す		0.5時間
6	乳児の発育と栄養	予習) 乳児期の発達を調べてくる		0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す		0.5時間
7	調乳法実習	予習) 乳児保育・調乳の復習してくる		0.5時間
		復習) 課題レポート作成		1時間
8	離乳食の役割・離乳食の進め方	予習) 乳児保育・離乳食の復習		0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す		0.5時間
9	*連続授業 離乳食の実際① 初期・中期【実習】	予習) 「授乳離乳の基本」を読んでくる		1時間
10	離乳食の実際② 後期・移行期【実習】	復習) 課題レポート作成		1時間
11	栄養に関する基本知識① エネルギー代謝・糖質・脂質	予習) ダイエットと栄養について調べてくる		1時間
		復習) 授業資料を読み直す		0.5時間
12	栄養に関する基本知識② たんぱく質・ビタミン	予習) 筋力アップと栄養について調べてくる		0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す		0.5時間
13	栄養に関する基本的知識③ ミネラル・小児の食事摂取基準	予習) 骨の成長と栄養について調べてくる		0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す		0.5時間
14	栄養に関する基本的知識④ 小児期に必要な栄養素	予習) 栄養の基礎・授業をまとめておく		1時間
		復習) 課題レポート作成		1時間
15	胎児・妊娠期の生理と栄養・生涯発達と食生活	予習) 自分の食事記録をつけてくる		0.5時間
		復習) 定期試験準備		3時間

授 業 計 画		準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)	準 備 学 習 時 間
16	幼児期の心身の発達と食生活① 心身の発達	予習) 子どもの保健・子どもの発達を復習	0.5時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
17	幼児期の心身の発達と食生活② 食の育ち	予習) 子どもの食の発達について下調べ	0.5時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
18	幼児期の心身の発達と食生活③ 食の課題と対応 【ディスカッション】	予習) 幼児期の食の課題について下調べ	0.5時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
19	幼児期の食生活・栄養の特徴	予習) 幼児期の食の特徴について下調べ	0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
20	児童福祉施設における食事と栄養	予習) 保育所給食の実態を調べてくる	0.5時間
		復習) 課題レポート作成	0.5時間
21	学童期の心身の発達と食生活	予習) 学童期の食の課題について下調べ	0.5時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
22	食物アレルギーのある子どもへの対応	予習) 子どもの保健・アレルギーについて復習	1時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
23	食育の基本 幼児期における食育と食育計画	予習) 食育に関する資料を集める	1時間
		復習) 自分で実施したい食育保育を考える	0.5時間
24	食育の基本 食育年間計画作成	予習) 食育年間計画資料を集める	1時間
		復習) 課題レポートの作成	1時間
25	食育保育指導案作成 【グループワーク】 食育計画①	予習) 年齢ごとの保育計画の特徴を見直す	0.5時間
		復習) 食育指導案作成	0.5時間
26	食育保育指導案作成 【グループワーク】 食育計画②	予習) 食育指導案作成	0.5時間
		復習) 発表演習の準備	1時間
27	食育保育演習① 子どもへの食育の実際【演習】	予習) 発表演習の準備	0.5時間
		復習) 課題レポート	1時間
28	食育保育演習② 子どもへの食育の実際【演習】	予習) 発表演習の準備	0.5時間
		復習) 課題レポート	1時間
29	食育保育演習③ 子どもへの食育の実際【演習】	予習) 発表演習の準備	0.5時間
		復習) 課題レポート	1時間
30	特別な配慮を要する子どもの食と栄養 障がいのある子どもへの対応	予習) 子ども保健・疾病について復習	1時間
		復習) 定期試験準備	3時間

担当者からのメッセージ

子どもに食を伝えていくためには、保育者自らの「健康的な食生活を実践する力」が必要です。毎日の生活の中で食に興味関心を持ち、朝食の摂取やバランスの取れた食生活、食事のマナーを身につけるよう心がけましょう。

保育士資格取得必須科目であり、「保育の心理学」「子どもの保健」「家庭支援論」などの関連性が深く復習を踏まえた理解が必要です。当授業では、実習や教材研究を行うため、レポート等の提出があります。しっかり予習、復習を行い、積極的に授業に参加して下さい。

【オフィスアワー】 なお オフィスアワーは、担当授業終了後の休み時間です。質問はManabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	こども家庭支援論 (H I E 4)			講義	近末 克紀
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼 保連携型認定こども園教育保育要領・ 天使のにもつ 教材 プリントなど適宜配布
2単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	レポート	実技	授業態度	
—	20%	60%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

保育者として、その専門性を活かして行う子育て家庭への支援について考え、多様な支援の形や実際を知ることで、その意義と目的を理解する。グループワークやディスカッションを中心に、保育現場でおきた実際の事例をもとにその時の子どもたちや保護者の姿や感情、課題や問題点を探り、理解を深めていく。

【フィードバックの方法】

毎回リアクションペーパーを記載し、次回授業の中でフィードバックする。レポートについては返却する。

【授業の到達目標】

- ・子育て家庭に対する支援の意義と目的を理解する。
- ・「よりよい子育て社会」の構築に向けて、保育者としての意識を身につける。
- ・子どもの成長に対する保護者との共有、支援の具体的な方法を理解する。

【実務経験】

保育士歴21年。現場で実際に経験してきた事例を元に、理論と合わせ総合的実践的に学んでいく。
保育士・幼稚園教諭・チャイルドコーチングアドバイザー・乳幼児救命救急支援員・和太鼓民舞講師

授 業 計 画		準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)		準備学習時間
1	オリエンテーション 子ども家庭支援の意義と役割を知る	予習) シラバスにて授業内容、到達目標を把握		1時間
		復習) 子ども家庭支援の意義役割についてまとめる		2時間
2	保育の専門性を活かした子ども家庭支援 子どもの育ちの喜びと共有	予習) 子育ての喜びについて考えてくる		1時間
		復習) 子どもの成長の喜びについてまとめる		2時間
3	保育士に求められる基本的態度 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習) 保育士としての態度について考える		1時間
		復習) 基本的態度についてまとめる		2時間
4	それぞれの家庭の状況に応じた支援の在り方 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習) 様々な家庭環境について考える		1時間
		復習) 家庭の状況に応じた支援の在り方をまとめる		2時間
5	公的機関との連携について 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習) 公的機関について調べてくる		1時間
		復習) 公的機関との連携についてまとめる		2時間
6	子ども家庭支援に対する環境づくり① 「傾聴」	予習) 傾聴とはどういうことか調べてくる		1時間
		復習) 傾聴のポイントをまとめる		2時間
7	子ども家庭支援に対する環境づくり② 「承認」	予習) 承認とはどういうことか調べてくる		1時間
		復習) 承認のポイントをまとめる		2時間
8	子ども家庭支援に対する環境づくり③ 「質問」	予習) 質問とはどういうことか調べてくる		1時間
		復習) 質問のポイントをまとめる		2時間
9	和太鼓で体を動かそう 子どもと共に楽しむことが支援の基礎になる①	予習) ケガをしないように体をほぐす		1時間
		復習) 疲れが残らないように充分休息をとる		2時間
10	保育現場での支援の実際 送迎時の会話・連絡帳を基に考える	予習) 連絡帳の意義を考えてくる		1時間
		復習) 連絡帳などの大切さやポイントをまとめる		2時間
11	保育現場での支援の実際 事故事例から考える グループディスカッション・発表	予習) 保育園での事故事例を調べてくる		1時間
		復習) 保育者として命との向き合い方をまとめる		2時間
12	リズムで体を動かそう 子どもと共に楽しむことが支援の基礎になる②	予習) ケガをしないように体をほぐす		1時間
		復習) 疲れが残らないように充分休息をとる		2時間
13	保育現場での支援の実際 「天使のにもつ」を参考に考える①	予習) 「天使のにもつ」を読む		1時間
		復習) 保育士の仕事を十分理解する		2時間
14	保育現場での支援の実際 「天使のにもつ」を参考に考える②	予習) 「天使のにもつ」を読む		1時間
		復習) 現在の自分の保育観についてまとめる		2時間
15	いのちの授業 ゲストティーチャーを迎えて	予習) いのちについて考えてくる		1時間
		復習) 大切ないのちを預かるという自覚を持つ		2時間

担当者からのメッセージ

保育現場で出会うたくさんの子どもの保護者たちへの支え方を、実際に保育現場であったお話をもとにみんなで考えていきましょう。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは、授業終了後の休憩時間です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	特別支援教育Ⅱ(障がい児保育含む) (YHⅡB5)			演習	林 恵
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 「演習・保育と障害のある子ども」野田 敦史他・みらい・2017・2300円(税別) 教材 適宜配布
1単位	—	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	50%	50%	—	—	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授業概要

【授業の内容・方法】

特別支援教育Ⅰで学んだことを基礎とし、特別な支援を要する子どもを含んだ集団が育ちあっていくためにはどうすればいいか、具体的場面を通して理解をする。指導計画や連携機関について具体的実践に基づいて学ぶ。授業は講義とともに、ディスカッションや疑似体験など実践的内容を取り入れる。リアクションペーパー、課題などの内容を次回授業内でフィードバックする。なお、課題が提出されていない場合は評価の対象としない。

【フィードバックの方法】

・課題に対するフィードバックを授業内で実施し、講評・解説の時間を設ける。

【授業の到達目標】

- ・特別な支援を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について説明できる。
- ・特別な支援を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働・保育の課題について説明できる。
- ・特別な支援が必要な子どもへの興味関心をもち、保育者としての態度を考えることができる。

【実務経験】

特別支援学校教諭、保健センター発達相談員、児童相談所心理判定課心理判定員の実務経験を活かし、具体的な事例や場面を示しながら、実践に結びつく講義をおこなう。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	オリエンテーション 特別支援教育Ⅰの振り返り	予習	シラバス確認	0.5時間
		復習	授業内容の整理	0.5時間
2	障害とはなにか インクルーシブ時代の保育の考え方	予習	Ⅰで学んだ障害種を振り返る	0.5時間
		復習	インクルーシブの概念をまとめる	0.5時間
3	近年の特別支援教育の特徴 医療的ケア児への対応	予習	医療的ケアについて調べる	0.5時間
		復習	医療的ケア児の動画を見る	0.5時間
4	特別支援教育の実際(1)視覚的教材の作成	予習	Ⅰ第3回授業内容を振り返る	0.5時間
		復習	視覚的教材を作成する	0.5時間
5	特別支援教育の実際(2)視覚的教材をどう使うか 特別支援と保育の計画：指導計画と支援計画	予習	視覚的教材をどう使うか考える	0.5時間
		復習	指導計画と支援計画の違いをまとめる	0.5時間
6	特別支援教育の実際(3)教材と指導計画 指導計画及び個別の支援計画の作成	予習	指導計画の記入欄を確認する	0.5時間
		復習	計画の書き方を確認する	0.5時間
7	特別支援教育の実際(4) 職員間の協働と連携：特別支援教育コーディネーター	予習	取り巻く職員種について調べる	0.5時間
		復習	特別支援教育コーディネーターについて復習	0.5時間
8	家庭と自治体・関係機関との連携(1) 障がいのある子どもを支える関係機関を知る	予習	支援機関を調べる	0.5時間
		復習	支援機関同士の連携をまとめる	0.5時間
9	家庭と自治体・関係機関との連携(2) 小学校への入学：小学校との連携を知る	予習	小学校への申し込りに必要な物を考える	0.5時間
		復習	具体的方法を振り返っておく	0.5時間
10	家庭と自治体・関係機関との連携(3) 家庭との連携について知る：障がいの受容①保護者	予習	親の気持ちを想像する	0.5時間
		復習	障害受容についてまとめる	0.5時間
11	家庭と自治体・関係機関との連携(4) 家庭との連携について知る：障がいの受容②きょうだい	予習	きょうだいの気持ちを想像する	0.5時間
		復習	様々な家族の形についてまとめる	0.5時間
12	特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題(1) 外国ルーツ・性的マイノリティ・貧困・ヤングケアラー	予習	支援が必要な子どもの現代の課題について調べる	0.5時間
		復習	選択した課題について調べる	0.5時間
13	特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題(2) 選択課題の作成	予習	選択した課題について調べる	0.5時間
		復習	選択した課題について調べる	0.5時間
14	特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題(3) 選択課題の発表	予習	選択した課題についてまとめる	0.5時間
		復習	レポートをまとめ、提出する	0.5時間
15	全体のまとめと振り返り	予習	今までの学習内容を振り返る	0.5時間
		復習	学習の不足分を復習する	0.5時間

担当者からのメッセージ

教材を作ってmanabaにアップし相互に評価をします。提出物は期限を守って出してください。

【オフィスアワー】manabaのメッセージ機能で質問等受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	幼児理解と教育相談 (Y H I C 4 #)			講義	林 恵
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 子どもの理解と保育・教育相談 [第2版] みらい 参考書
2単位	—	○	#		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	50%	50%	—	—	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授業概要

【授業の内容・方法】

保育者に子育て支援の役割が期待されるなかで、相談援助の考え方やカウンセリング・マインドをふまえた対応が求められている。この授業では講義と演習を通してそれらの理解と技法を身に付ける。

【フィードバックの方法】

提出された課題については添削をおこなう。授業内でも質疑応答を実施する。

【授業の到達目標】

- ・さまざまな子どもの特徴やニーズと発達を理解する
- ・相談やコンサルテーションをおこなうための具体的な方法を習得する。
- ・実際に保育の相談内容を知り、考えることで、保育・教育相談の基礎知識を身に付ける。

【実務経験】

特別支援学校教諭、保健センター発達相談員、児童相談所心理判定課心理判定員の実務経験を活かし、具体的な事例や場面を示しながら、実践に結びつく講義をおこなう。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	保育の場における相談ニーズとカウンセリング・マインド	予習) テキストの第1章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
2	子どもの発達理解と相談・支援	予習) テキストの第2章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
3	保護者への対応 一子育て支援の視点から	予習) テキストの第3章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
4	発達障害や気になる子どもとその保護者へのかかわり	予習) テキストの第4章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
5	子ども理解のための発達理論とカウンセリング的アプローチ	予習) テキストの第5章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
6	保育場面でのカウンセリング技法の活用	予習) テキストの第6章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
7	園・地域における専門家との連携による相談・支援	予習) テキストの第7章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
8	保育者の専門性と相談活動	予習) テキストの第8章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
9	基礎的対人関係のトレーニング	予習) テキストの第9章を読んでおく		2時間
		復習) 授業内容についてまとめる		2時間
10	事例検討 子ども同士のいざこざ/仲間に入れない子ども	予習) テキストの事例1・2を読んでおく		2時間
		復習) 事例を振り返り、ポイントをまとめる		2時間
11	事例検討 すぐに暴力を振る子ども/不登園の子ども	予習) テキストの事例3・4を読んでおく		2時間
		復習) 事例を振り返り、ポイントをまとめる		2時間
12	事例検討 虐待が疑われる子ども/児童養護施設での不適切なかかわり	予習) テキストの事例5・6を読んでおく		2時間
		復習) 事例を振り返り、ポイントをまとめる		2時間
13	事例検討 障害のある子ども/気になる子ども	予習) テキストの事例1・2を読んでおく		2時間
		復習) 事例を振り返り、ポイントをまとめる		2時間
14	事例検討 外国につながる子ども/保護者からの相談	予習) テキストの事例1・2を読んでおく		2時間
		復習) 事例を振り返り、ポイントをまとめる		2時間
15	全体の振り返りとまとめ	予習) 今までの資料を読み返す		2時間
		復習) 全ての学習内容のポイントをまとめる		2時間

担当者からのメッセージ

事例検討などのワークは主体的に考えまとめるようにしてください。提出物は期限を守って出してください。

【オフィスアワー】 質問等は manaba 等のメッセージ機能で受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	仏教保育論 (H I E 6 #)			講義	藤生義仁・関 裕剛 内藤弘純
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 分かりやすい仏教保育論 教材 講師が用意したパワーポイント、プリントなどにより授業を進める
2単位	—	—	*	#	
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	70%	—	—	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

仏教とは「慈悲」の宗教である。仏教保育とは、慈悲の心にねぎした保育をいう。保育の中の仏教行事、月間のねらいなどを基に、実際に園で行っている保育を紹介・解説していく。主に講義として行うが、年4回の仏教行事の参加を求め、また、それぞれ授業においては、グループワーク、ディスカッションなどの時間を取り入れながら、理解を深めていく。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパーに関しては、授業の中でフィードバックし、共有した後返却する。

【授業の到達目標】

日常の保育の中で、仏教精神や仏教行事がどのように取り入れられているかを理解し、説明できる。またそれぞれの園での活動の違いを知る。そして、自身の今後の保育感を深め、「こういう保育者になりたい」と考えられるようになる。

【実務経験】

保育園の園長の経験、僧侶としての経験と知識を活かして、保育と仏教の統合的実践的な講義を行う。

授 業 計 画		担当者	準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)	準備学習時間
1	仏教保育とは (1) ～「生きる」について考える～	藤生	予習) 「生きる」について考える	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
2	仏教保育とは (2) ～「有難い」について考える～	藤生	予習) 「有難い」について考える	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
3	仏教保育とは (3) ～「信頼関係」について考える～	藤生	予習) 「保育」について考える	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
4	月間の保育のねらい (1) 4月「合掌聞法」	藤生	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
5	月間保育のねらい (2) 5月「持戒和合」	藤生	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
6	月間保育のねらい (3) 6月「生命尊重」、7月「布施奉仕」	関	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
7	月間保育のねらい (4) 8月「自利利他」	関	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
8	月間保育のねらい (5) 9月「報恩感謝」	関	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
9	月間保育のねらい (6) 10月「同事協力」	関	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
10	月間保育のねらい (7) 11月「精進努力」	内藤	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
11	月間保育のねらい (8) 12月「忍辱持久」	内藤	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
12	月間保育のねらい (9) 1月「和顔愛語」	内藤	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
13	月間保育のねらい (10) 2月「禪定静寂」、3月「智慧希望」	内藤	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
14	仏教行事 (1) 仏教行事「降誕会」「魂まつり」の参加、レポート提出	内藤	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
15	仏教行事 (2) 仏教行事「成道会」「涅槃会」の参加、レポート提出	関	予習) 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習) 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間

担当者からのメッセージ

仏教保育の優しさ、心の豊かな保育を理解し、保育の楽しさ、やりがいに繋げてもらいたいと思います。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは、授業終了後の休み時間内。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	体育理論 (Y H I E 1)			講義	丸山陽介
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 なし 参考書 「体育理論」慶応大体育研究所 「体力テストの方法と活用」日本体育協会 教材 プリント配布	
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	20%	50%	—	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授業概要

【授業の内容・方法】

人は、長い進化の過程で獲得してきた形質や受け継がれてきたもの、あるいは失ってきたもの等を複雑に加味し存在している。

幼児教育を学ぶ学生として、自身の体力・健康とこどもの身体運動のしくみや心身の発達についても学んでいく。

授業は講義を中心として、演習を適宜取り入れ、それをもとにディスカッションやグループワークを適宜行う。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・運動に関して、授業の中でフィードバックし、共有する。

【授業の到達目標】

人の運動行動や身体機能の動きを説明できるようになる。

体力・健康について理解し、説明できるようになる。

【実務経験】

A S I 公認スポーツ指導者、日本発育発達学会認定幼少年体育指導士、J F A 公認D級・4級審判の資格を持つ教員のもと運動の実施方法を学修する。

授業計画		準備学習（予習・復習）	準備学習時間
1	体力とは（1） 体力の概念と構造について	予習) 体力について調べる	1時間
		復習) 体力とその構造についてまとめる	2時間
2	体力とは（2） 測定の方法と評価について	予習) 体力の測定方法を調べる	1時間
		復習) 方法と評価についてまとめる	2時間
3	健康とは？ 健康の概念について	予習) 健康について調べる	1時間
		復習) 健康の概念についてまとめる	2時間
4	運動で期待できる効果について 身体運動と発達について、形態・機能など	予習) 身体運動の効果について調べる	1時間
		復習) 身体運動の効果についてまとめる	2時間
5	運動で期待できる効果について 感情と発達について、自己概念と運動など	予習) 精神的効果について調べる	1時間
		復習) 運動と感情についてまとめる	2時間
6	運動で期待できる効果について 社会性の発達と運動について	予習) 社会的効果について調べる	1時間
		復習) 運動と社会性についてまとめる	2時間
7	生活と運動について 基本的生活習慣の発達と運動について	予習) 基本的生活習慣について調べる	1時間
		復習) 生活と運動の関係についてまとめる	2時間
8	安全管理について まとめ	予習) 安全管理について調べる	1時間
		復習) 習得できているかを確認する	2時間

担当者からのメッセージ

人の身体（体力・健康）について理解を深めるとともに、特に保育者になる学生は、成長発達についても一緒に考えましょう。

【オフィスアワー】授業終了後の休み時間

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年通年	体育実技 (Y H I E 2)			実技	丸山陽介
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 なし 教材 適宜配布
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	10%	10%	30%	50%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授業概要

【授業の内容・方法】

各種運動の特性を学ぶ。また、運動を通して仲間との協力、心身の解放感、ノンバーバルなコミュニケーション能力を高める。そして、改善のために生涯にわたり身体運動を楽しみ、その意味付けが出来るような基礎を、実際に身体を動かしながら学ぶ。

身体動作について、随時フィードバック（講評と指導助言）しながら実技形式で授業を展開する。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・運動に関して、授業の中でフィードバックし、共有する。

【授業の到達目標】

- ・身体の動きを知り、実践を通して捉えることができる。
- ・コミュニケーション能力を高めるとともに、準備から片付けまでを率先して行うことができる。

【実務経験】

A S I 公認スポーツ指導者、日本発育発達学会認定幼少年体育指導士、J F A 公認D級・4級審判の資格を持つ教員のもと運動の実施方法を学修する。

授業計画		準備学習（予習・復習）	準備学習時間
1	ガイダンス 授業内容、方法について コミュニケーションゲームなど	予習) 体力とその保持増進について調べる	1.5時間
		復習) 授業の進め方（準備運動）を確認する	1.5時間
2	バレーボール（1） 基礎技能の習得 パスやサービス	予習) バレーボールの基礎技能について調べる	1.5時間
		復習) 基礎技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
3	バレーボール（2） 基礎技能の習得 パスやサービス	予習) バレーボールの基礎技能について調べる	1.5時間
		復習) 基礎技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
4	バレーボール（3） グループによる基礎練習と応用、簡易ゲーム	予習) バレーボールの集団的技能について調べる	1.5時間
		復習) 集団的技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
5	バレーボール（4） 応用技術 ゲームの実践	予習) バレーボールのルールについて調べる	1.5時間
		復習) ゲームの振り返りとまとめをする	1.5時間
6	バドミントン（1） 基礎技能の習得 クリヤー、ドロップ、ドライブ、ヘアピン等	予習) バドミントンの基礎技能について調べる	1.5時間
		復習) 基礎技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
7	バドミントン（2） 基礎技能の習得 クリヤー、ドロップ、ドライブ、ヘアピン等	予習) バドミントンの基礎技能について調べる	1.5時間
		復習) 基礎技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
8	バドミントン（3） 応用技能 サービス ルール ゲームの進め方	予習) バドミントンの応用技能について調べる	1.5時間
		復習) 応用技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
9	ミニサッカー（1） 基礎技能の習得 キック、パス練習	予習) サッカーの基礎技能について調べる	1.5時間
		復習) 基礎技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
10	ミニサッカー（2） 応用技能の習得 連携、攻撃等の練習	予習) サッカーの応用技能について調べる	1.5時間
		復習) 集団的技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
11	ミニサッカー（3） 応用技能の習得 簡易ゲーム練習 ゲームの実践	予習) サッカーの試合運びについて調べる	1.5時間
		復習) ゲームの振り返りとまとめをする	1.5時間
12	ミニサッカー（4） 応用技能の習得 簡易ゲーム練習 ゲームの実践	予習) サッカーの試合運びについて調べる	1.5時間
		復習) ゲームの振り返りとまとめをする	1.5時間
13	レクリエーションの運動（1）	予習) レクリエーション運動について調べる	1.5時間
		復習) 実施した運動の内容についてまとめる	1.5時間
14	レクリエーションの運動（2）	予習) レクリエーション運動について調べる	1.5時間
		復習) 実施した運動の内容についてまとめる	1.5時間
15	陸上競技系の運動： 幼児体育につながる陸上運動 かけっこ、リレーなど	予習) 走競技と走運動について調べる	1.5時間
		復習) 陸上競技系の運動についてまとめる	1.5時間

授 業 計 画		準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)		準備学習時間
16	器械運動： 幼児体育につながる器械運動 マット運動など	予習)	器械運動の種類を調べる	1.5時間
		復習)	器械運動についてまとめる	1.5時間
17	器械運動： 幼児体育につながる器械運動 マット運動など	予習)	器械運動の種類を調べる	1.5時間
		復習)	器械運動についてまとめる	1.5時間
18	器械運動： 幼児体育につながる器械運動 跳び箱運動など	予習)	器械運動の種類を調べる	1.5時間
		復習)	器械運動についてまとめる	1.5時間
19	器械運動： 幼児体育につながる器械運動 跳び箱運動など	予習)	器械運動の種類を調べる	1.5時間
		復習)	器械運動についてまとめる	1.5時間
20	器械運動： 幼児体育につながる器械運動 鉄棒運動など	予習)	器械運動の種類を調べる	1.5時間
		復習)	器械運動についてまとめる	1.5時間
21	器械運動： 幼児体育につながる器械運動 鉄棒運動など	予習)	器械運動の種類を調べる	1.5時間
		復習)	器械運動についてまとめる	1.5時間
22	器械運動： 幼児体育につながる器械運動 平均台運動など	予習)	器械運動の種類を調べる	1.5時間
		復習)	器械運動についてまとめる	1.5時間
23	器械運動： 幼児体育につながる器械運動 ボール・フープ運動など	予習)	器械運動の種類を調べる	1.5時間
		復習)	器械運動についてまとめる	1.5時間

担当者からのメッセージ

保育者にとって大切な「体力」に関して、楽しく身体を動かしながら学び、運動やスポーツの方法とルールを理解するとともに、個人的技能や集団的技能、スポーツとコミュニケーションについて考えてみよう。

【オフィスアワー】 授業終了後の休み時間